放送用語委員会（札幌）

できるだけ漢語を避ける

第1314回放送用語委員会が11月7日に札幌放送局で開かれた。外部委員の井上史雄氏（明海大学教授），日高貢一郎氏（大分大学教授）に出席していただき，札幌・函館・帯広・釧路・北見の計5局の番組やニュースの用語や表現を検討した。

【できるだけ漢語を避ける】

① 買い物袋を持参するよう呼びかけました。
② ごみを削減し資源を有効に利用しようと，～
③ 店頭で買い物客にレジ袋の有料化を知らせる～
④ 救急患者を搬送しました。

漢語は目で見た場合は意味の広がりがあり，ことばが短縮できるのが特性だ。ニュースでは，短いなかに内容を盛り込みたいのでつい使いたくなる。しかし，耳で聞くと伝わりにくいので，放送の文章では，できるだけ和語に変えたほうがいい。

① 持参するよう→持ってくるよう
② 削減し→減らし
③ 店頭で→スーパーの前で
　有料化されるのを→有料になるのを
④ 搬送しました→運びました

①②③はレジ袋有料化関連の同じニュースだが，言いかえ可能な漢語も多い。

④の搬送は，ドクターヘリの試験運行のニュース。１つのニュースに搬送が6回出てきた。同じことばが何回も出てくると耳障りなので，幾つかは言いかえたほうがいい。

【耳で聞いてわかる表現を】

① メンバーは17人。週に３回，体育館を借りて練習しています。
② ボクシング一筋の熱い夏を送っている親子を取材しました。

① 最初に番組を見たとき，「週2，3回」と聞こえた，という指摘があった。文字では伝わると思っていても音声で聞くと伝わらない場合もある。この場合には「週に，3回」と区切って読めば意味を間違えることはない。
② １回聞いただけでは，熱い夏を同じアクセントである暑い夏ととる人もいるだろう。
「ボクシング一筋の夏を熱い思いで送っている親子」とすれば正しく伝わる。

音声メディアであることを常に意識して，ことばや表現を選ぶこと，発音することが大切だ。

【否定のことばについていけない】

この地区の農家が，管理や運営をしている越川温泉です。
農家や会員以外の人が入浴する際には，１人200円の協力金を支払います。

以外は，会員だけを受けて「農家や，会員以外」なのか，農家と会員の両方を受けて農家や会員以外なのか，わからない。この例では，実際の意味は，以外は農家と会員の両方にかかっているということだった。「否定のことばが入ると，人間の頭はついていけないので注意が必要だ」という助言があった。

以外の前の単語は1つにして，「農家以外，会員以外は1人200円」とすれば意味を取り違えることはない。あるいは「農家や会員は無料で，それ以外は200円」としてもいい。

【具体的な事実で表現する】

①圭汰さんの試合まで，あとひと月足らず。家でも，寸暇を惜しんで練習です。②この6月，伊豆美さんは，息子より一足先に大会に挑みました。結果は大成功。技術が認められ，C級というクラスに合格しました。

①「『寸暇を惜しんで』は情緒的で，わかったような，わからないような表現だ」という指摘があった。1日何時間練習するのか。食事の時間や寝る時間も惜しんで練習するのかなど，どういうふうに寸暇を惜しんだのかが伝わってこない。具体的に表現したほうが説得力が出る。

② 何が「大成功」なのかわからない。番組を見ている人の多くは，C級がどの程度のクラスか知らない。実際にはAからEまでクラスがあり，いきなり下から3番目のC級に合格したということだった。その説明があれば「大成功」の意味がわかったという発言があった。

【リードのセンテンスを短く】

北海道開発局が発注した公共工事を巡る官製談合事件で，札幌地方裁判所は開発局のOB 2人に対し，② 開発局職員の天下り先を確保するなどの目的で談合を続け，公正な入札を骨抜きにしたと指摘して，① 執行猶予の付いた有罪判決を言い渡しました。

用語委員会では，毎回のようにニュースのリードを短く，センテンスを短くという議論になる。この原稿も事件の経緯を知らない人が，耳で聞いてもわからないという指摘があった。このリードでは①量刑②判決理由と2つのことを言っている。「～の判決を言い渡しました」「判決の中で～と指摘しました」と文を分けて1つの文で1つのことを言うようにすれば，耳から入りやすくなる。

夕方のニュース情報番組では，リードのセンテンスを分けたうえで，裁判の解説をしたということだった。昼のニュースなどのストレートニュースでは，伝統的にリードを1つの文にする傾向がある。わかりやすくするためには2段見出しをもっと取り入れてもいいのではないかという意見が出た。

【「・・・んです」の多用は避ける】

牧草地が多いんですよ。・・・①羊を専門に扱っている農家もいるんです。・・食肉用として各地に出荷されているんですね。・・・② 400頭以上の羊が放されているんです。・・・犬なんですよ。③羊を管理する牧羊犬なんです。

このパートでは，ほとんどのセンテンスが「～んです」で終わっていた。中継，特に掛け合いの中継では，自然な話しことばが望ましい。しかし，あまりに頻繁に出てくると聞いている人は「うっとうしく感じる」という意見が出た。「～んです」が多すぎる場合は抑え気味にしたほうがいい。

例えば③を「牧羊犬なのです」とすると話しことばとして不自然だが，①では「農家もあります」②では「放されています」としたほうがていねいな印象を受ける。

【難しいことばの処理をどうするか】

① 産卵を前にしてオスも，赤みがかった婚姻色が出てきてしまいます。そして脂も落ちてしまいますので，オスの今の時期のものだけを使うんですね。

② そして，1年漬けたものが，これ。新巻ざけと同じように漬けたものなんですけれども，熟成期間が長い山漬けと呼ばれるものです。

題材は，北海道管中の新巻ざけ作りの中継のコメントだ。「産卵を前にしてオスも・・・」というのは，オスが産卵するわけではないので違和感があるという指摘があった。「メスが産卵する時期を前に・・・」と言いかえれば不自然ではない。

さけの話題が頻繁に出てくる北海道では，婚姻色はよく使うことばで，難しいことばではないという意見も出た。しかし，わかりにくければ，「オスも赤みがかった色になります」といった表現をして婚姻色を使わないのも1つの方法だ。放送は幅広い視聴者を対象としている。難しいことばを使うならきちんと説明する，そうでなければ使わないという姿勢が必要だ。

山漬けも耳で聞いてもわからないことばなので，字幕スーパーが必要だという指摘があった。

吉沢　信（よしざわ まこと）

第1314回放送用語委員会（札幌）

【開催日】平成20年11月7日（金）
【出席者】井上史雄氏，日高貢一郎氏，
瓜知生 札幌放送局副局長
岩澤忠彦 放送文化研究所所長 ほか